



2008年11月13日

報道関係各位

ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
財団法人 日本ユニセフ協会

「1ℓ for 10ℓ(ワンリッター フォー テンリッター)」プログラム最終結果報告

10年間を通じて11億1600万リットルを越す清潔で安全な水が
アフリカ・マリ共和国の子どもたちとコミュニティ、約20,000人以上へ提供されます

ナチュラルミネラルウォーターブランド「Volvic(ボルヴィック、以下ボルヴィック)」を有するフランスの総合食品メーカー・ダノングループの飲料水事業を日本で展開するダノンウォーターズオブジャパン株式会社(本社:東京都目黒区上目黒、代表取締役社長:リチャード・ホール、以下ダノンウォーターズオブジャパン)は、2008年6月1日より10月31日まで実施した、ボルヴィックとユニセフがグローバルに展開している清潔で安全な水を確保するための支援プログラム「1ℓ for 10ℓ(ワンリッター フォー テンリッター、以下1ℓ for 10ℓ)」プログラムを通じ、今後10年間でアフリカのマリ共和国に供給される水の総量が1,116,238,860リットルに達したことを発表しました。

今年は当初予定していた実施期間を1ヶ月延長したため、昨年より2ヶ月間長い5ヶ月間プログラムを実施しました。その結果支援規模は去年の実績を大きく上回り、日本における本年度のキャンペーンを通じてダノングループからユニセフへ贈られる寄付金は約6,700万円になりました。この寄付金は、アフリカ・マリ共和国におけるユニセフの水と衛生のプロジェクトに活用され、ユニセフは清潔で安全な水を確保するための井戸を作り、10年に渡ってメンテナンスを行います。このようにして、ボルヴィック出荷量1リットルにつき10リットルの清潔で安全な水が、マリ共和国に供給され、今後10年間で約20,000人以上の人々に、延べ約11億1,600万リットルの清潔で安全な水が供給される予定です。

「1ℓ for 10ℓ」プログラムは、今世紀地球が抱える水資源に関わる重要課題に取り組んでいくため、ボルヴィックとユニセフが2005年から共同で取り組んでいるもので、ユニセフが世界各地の開発途上国で実施している水と衛生に関するプロジェクトを、ダノングループがボルヴィックブランドを通じて支援するグローバルプログラムです。2007年に続きキャンペーン2年目となる今年、日本では、延べ約10億リットルの清潔で安全な水がマリ共和国の子どもたちとコミュニティに供給されることを目標に、6月1日(日)よりプログラムがスタートしました。

2007年の「1ℓ for 10ℓ」プログラムによる支援の結果、支援対象地域であるマリのモプティ地方およびガオ地方にて、本年8月9日までに、20基の手押しポンプ付の深井戸の新設、60基の故障していた手押しポンプの修復が完了しています。また、モプティ地方では村にいるポンプの修理工12名を対象に、井戸のメンテナンスのためのトレーニングが実施され、修理やメンテナンスに使用する工具も供給されました。また、持続的に、衛生的に水を利用するために、新しく井戸ができた20の村と、手押しポンプが修復された57の村で地元住民による水管理委員会が設立されました。

ダノンウォーターズオブジャパンでは、来年も引き続き「1ℓ for 10ℓ」プログラムを実施する予定で、マリ共和国における清潔で安全な水の確保および現地の人々の衛生環境や生活水準の向上を支援するだけでなく、日本におけるアフリカの水と衛生に関する問題に対する関心と理解を高めることを目指します。

以上

添付資料:贈呈内容およびマリでの具体的支援活動、マリ共和国における水の現状、「1ℓ for 10ℓ」プログラムを振り返って

*尚、11月13日に実施された贈呈式の模様は www.volvic.co.jp にて12月中旬以降、紹介予定です。



1ℓ → 10ℓ



贈呈内容およびマリでの具体的支援活動:

贈呈先	ユニセフ(国際連合児童基金)
贈呈日	2008年11月13日(木)
贈呈額	約 6,700 万円
寄付金使用用途	<p>1)モブティ地方において手押しポンプ付の深井戸 23 本の建設 2)モブティ地方において 40 本の手押しポンプ付の深井戸の修理を含む持続可能な水源管理体制の整備 3)手押しポンプのメンテナンスを確実に実施できる水と衛生に熟練した作業員の育成 4)コミュニティの水と衛生に関する活動の管理および住民への水と衛生に関する啓蒙活動を行うための自治体レベルの能力の強化</p> <p>持続的な使用を実現させるために、ユニセフは井戸の建設や修理だけでなく、修理工や修理部品の確保、トレーニングを実施し、住民が主体となってメンテナンスを行います。</p>

マリ共和国における水の現状:

2007年の「1ℓ for 10ℓ」プログラムの支援によって、計 71 の村で新たに、または再び清潔で安全な水が使えるようになりました。これらの村では、不衛生な水に起因する寄生虫病のメジナ虫病が発生していましたが、継続的に清潔で安全な水が使えるようになった結果、メジナ虫病は発生していません。

また、支援活動初期(2007年5月)に井戸が造られた村では、更なる成果が生まれています。清潔で安全な水が使えるようになったことから、下痢や体調不良が減ったこと、野菜などを作り、栄養状況が改善されたこと、体や手、食器を洗えるようになり、衛生的な生活を送れるようになったことなど、水は、農村に暮らす人々に多くの恩恵をもたらしています。2008年の「1ℓ for 10ℓ」プログラムによる支援を受けて、ユニセフは、引き続き、農村部における清潔で安全な水の供給と持続的な使用のための支援活動を展開していきます。

「1ℓ for 10ℓ」プログラムを振り返って:

2年目のプログラムを実施するにあたって掲げた目標の一つは、昨年賛同していただいた多くの日本の消費者の皆様へに現地での支援の成果を報告することです。実際に本プログラムが行った支援により生まれた、現地での生活の変化や人々の笑顔を TVCM 等で発信したところ、多くの日本の消費者の皆様より、「支援の結果が見えると参加しやすい」といったさらに多くのプログラムに対する賛同の声をいただきました。2年目のプログラムを振り返って、消費者参加型の支援活動は、「参加者の“支援したい”、という気持ち」と「支援の結果」が相互に作用することが、プログラムの発展には非常に重要であると感じました。今後も、消費者の皆様への支援したい、という気持ちと現地での支援活動を、ボルヴィックという商品が結びつけるような形で「1ℓ for 10ℓ」プログラムを進展させていきたいと思えます。

ダングループについて

ダングループは、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、おいしく、栄養があり、各市場に適した食品と飲料製品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。現在、全世界において 150 の工場と約 7 万 6 千人の従業員を擁しています。ダングループは、社会貢献活動としては、the Stoxx and the World Dow Jones Sustainability Indexes, the Eurozone ASPI、および the Ethibel Sustainability Index にリストされています。さらに詳しい情報は、www.danone.com をご覧ください。

Volvic について

Volvic は、輸入ミネラルウォーターの中で売り上げ No.1*ブランド。1986年の日本での輸入開始以来、着実に売り上げを伸ばし続け、若者層を中心に幅広く愛飲されています。水源はフランス中部・オーヴェルニュ地方に広がる火山自然公園のピュイ山脈。北端にある Volvic 村の地下深くから採水し、外気に全く触れることなく充填・キャッピングされた、まさに大自然がそのまま生きているナチュラルミネラルウォーターです。水源地の周辺環境は厳重に保護されており、約一万年前の火山活動で生まれた特別な地層が自然なフィルターとなってゆっくりとろ過されます。ヨーロッパでは珍しい「硬度 60 の軟水」で、そのすっきりとまろやかな味わいは、軟水の国である日本人の口にもよく合い、消費者の皆様から好評をいただいております。(www.volvic.co.jp)

日本においては、キリンMCダノンウォーターズが Volvic の輸入、マーケティングを行い、キリンビバレッジが販売を行っています。

ユニセフについて

ユニセフは、世界 150 以上の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動す



1ℓ → 10ℓ.



る国連機関です。ユニセフは、開発途上国で男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開しています。活動資金は、すべて個人や企業・団体からの寄付金と各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。

40 年以上に渡り、ユニセフは安全な水と衛生施設を必要としている人々に提供するためのプログラムを実施しており、井戸やトイレの建設や水と衛生に関する啓蒙活動を展開しています。「安全な水と衛生の確保」はユニセフが中期事業計画(2006 年～2009 年)で掲げる 5 つの重点分野の 1 つで、様々な政府機関や NGO 等のパートナーと協力しながら活動しています。(http://www.unicef.org)

日本ユニセフ協会について

財団法人日本ユニセフ協会は、先進工業国 36 カ国にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、政策提言(アドボカシー)、募金活動を担っています。(http://www.unicef.or.jp)